

植物の名前を調べる/聞くための写真の撮り方

- 1) 花が写っている写真
- 2) 樹木では葉が複数ついている枝も写す。全体が分かる。樹木など大型のものは全体ではかえって分かりにくくなるので注意。
- 3) 草では葉の付き方：互生、対生、輪生。葉の付き方：抱形、有柄、無柄。拓葉の有無など。
- 4) 葉や茎・葉柄・花柄の数mmの毛の有る、無し。毛のつき方。雄しべの毛、雌しべの毛など。
- 5) はっきり目的物が写っている写真。

植物に限らず生物の名前を写真で判定しようとするときよく知られた一部の例外を除いて複数枚の写真が必要。種判定に必要な部位は種類群ごとに違います。できればそれを考慮した写真であれば申し分ありませんが多くの場合そんな訳には行きません。1枚ですべてを収めようとするのに無理がありますのでせめて数枚の写真は必要。

写真以外の情報。

花の大きさ：〇〇cmぐらい、△△mmぐらい。

背丈：草では〇〇cmぐらい。樹木では△△m。小さい樹木なら△△cm。

何か特徴のある形態、例えばつる性植物。

生えている環境；日当りの良い、草原、日影（樹下）、乾燥地、湿地、水辺、水中など。

近年、植物の改良が進み多くの園芸種（品種）が見られます。外国からの輸入種も多いです。これらの多くは通常、植物園・家の庭や花壇などに植えられます。見掛けた場所を知らせてくれると役立ちます。